生成 AI・ICT で拓く！鶴ニ中 DX 通信 第３号

発行日　２０２６年 11月５日
発行元　町田市立鶴川第二中学校
研 究 推 進 委 員 会

先生の「余白」が、子どもたちの笑顔を育む

～「気づき」を、感動の連鎖へ～

〈生成 AI･ICT の授業への活用実践について〉

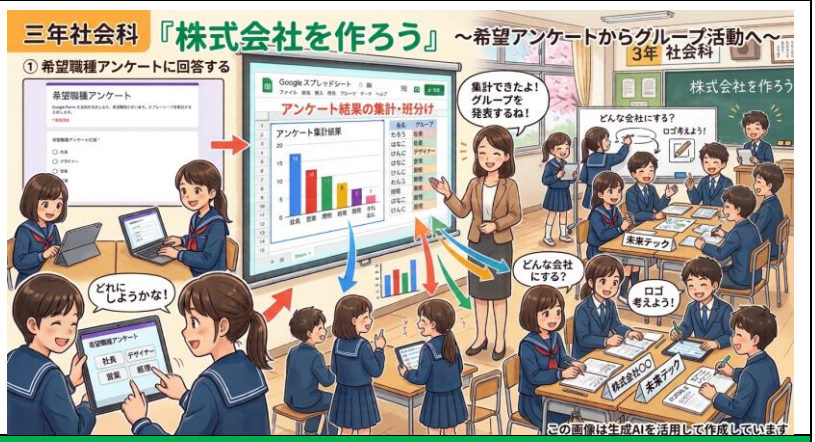
授業実践①：英語「Dream Robot Contest」～生きた英語力を育む～

１学年英語科では、助動詞 can/cannot を用いて地域や学校の課題を解決するロボットを提案する「Dream Robot Contest」を実施しました。教員が生成 AI を用いて条件（3 つの長所・1 つの短所）を視覚化したモデルスライドやロボットのイラスト、ルーブリック（評価基準）を作成・提示しました。生徒は英文原案を生成 AI に入力し、得られたフィードバックをもとに誤りを自ら修正・再構築する「自己添削」を行いました。



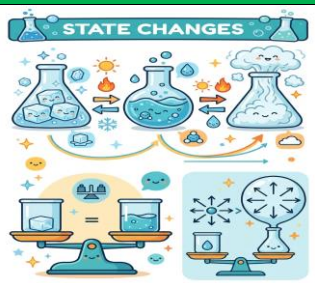
授業実践②：社会科 「株式会社を作ろう」

３学年社会科では、「私たちの暮らしと経済」で「株式会社を作ろう」という授業を実施しています。授業にあたり、各小単元で生成 AI を活用して、スライドを作成し、グループ分けでは Google form でそれぞれの希望する職種アンケートを行いました。今後、プレゼンテーション資料を Google スライドや Canva を活用して作成します。



授業実践③：理科科 「物質の状態変化における体積と質量」

１学年理科では、ロウが液体から固体に状態変化する際の「体積」と「質量」の変化を調べる実験を実施しました。授業にあたり、教員は生成 AI（Gemini 等）を活用して実験手順スライドを短時間で作成。①ガスバーナー加熱、②液面記録と電子天秤による質量測定、③氷水冷却、④外側の水気拭き取りと再測定、⑤体積の観察という５段階の手順と、「安全メガネ」「軍手」の着用ルールを分かりやすく視覚化しました。



- **地域･保護者の皆様とともに、安心で質の高い未来の学校づくりを進めてまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。**
- **本たよりは、生成 AI を活用して作成しました。**